

子どもの定期予防接種一覧

【定期予防接種】

R7.4から

予防接種の種類		標準的な接種年齢	法律による対象年齢 (無料で接種できる年齢)	回数及び間隔	
不 活 化 ワ ク チ ン	5種混合 ・ジフテリア ・百日せき ・ポリオ ・破傷風 ・ヒブ	初回：生後2か月から1歳に達するまで	生後2か月から7歳6か月の前日	3回 （20日以上、標準的には56日までの間隔をおく）	
		追加：1期初回3回終了後1年から1年6か月に達するまで		1回 （6か月以上の間隔をおけばできる）	
	4種混合 ・ジフテリア ・百日せき ・ポリオ ・破傷風	初回：生後2か月から1歳に達するまで	生後2か月から7歳6か月の前日	3回 （20日以上、標準的には56日までの間隔をおく）	
		追加：1期初回3回終了後1年から1年6か月に達するまで		1回 （6か月以上の間隔をおけばできる）	
	2種混合 ・ジフテリア ・破傷風	2期 11歳から12歳に達するまで	11歳から13歳の前日	1回	
	日本脳炎	1期	初回：3歳から4歳に達するまで 追加：4歳から5歳に達するまで	生後6か月から7歳6か月の前日	2回 （6日以上、標準的には28日までの間隔をおく） 1回 （初回2回終了後6か月以上、標準的にはおおむね1年の間隔をおく）
		2期 9歳から10歳に達するまで	9歳から13歳の前日		1回
	※特例対象者 ◎ 平成17年4月2日から平成19年4月1日に生まれた方は20歳の前日まで定期予防接種として受けることができる ・未接種者の1期は標準の接種間隔で接種。2期は9歳以上で1期終了後、6日あれば接種できるが5年程あけるのが望ましい ・1期を1回または2回した方は6日以上の間隔をおいて残りの2回または1回接種を行う。2期は2期は9歳以上で1期終了後、6日あれば接種できる				
	ヒブ	初回接種開始 生後2か月から7か月の前日	生後2か月から5歳の前日	生後2か月から7か月の前日に開始：4回 初回：27日以上、標準的には56日までの間隔をおいて3回 追加：3回目終了後7ヶ月以上、標準的には13か月までの間隔をおいて1回 ※ただし、初回2回目及び3回目の接種は、生後12ヶ月に至るまでに行うこととし、それを超えた場合は行わない。追加接種は可能で初回接種最後の注射終了後、27日以上の間隔をおいて1回 生後7か月から1歳の前日に開始：3回 初回：27日以上、標準的には56日までの間隔をおいて2回 追加：2回目終了後7ヶ月以上、標準的には13か月までの間隔をおいて1回 ※ただし、初回2回目の接種は、生後12ヶ月に至るまでに行うこととし、それを超えた場合は行わない。 追加接種は可能で初回接種最後の注射終了後、27日以上の間隔をおいて1回 生後1歳から5歳の前日に開始：1回	
	小児用肺炎球菌	初回 生後2か月から7か月の前日 追加 生後1歳から1歳3か月の前日	生後2か月から5歳の前日	生後2か月から7か月の前日に開始：4回 初回：標準的には生後12ヶ月までに27日以上の間隔をおいて 3回 ※ただし2回目及び3回目の接種は生後24ヶ月に至るまでに行うこととし、それを超えた場合は行わないこと（追加接種は実施可能） また初回2回目の接種は生後12ヶ月を超えた場合、初回3回目の接種は行わないこと（追加接種は実施可能） 追加：初回接種終了後60日以上の間隔をおいて、生後12ヶ月以降において1回 生後7か月から1歳の前日に開始：3回 初回：標準的には生後13ヶ月までに27日以上の間隔をおいて2回 ※ただし2回目の接種は生後24ヶ月に至るまでに行うこととし、それを超えた場合は行わないこと（追加接種は実施可能） 追加：初回接種終了後60日以上の間隔をおいて、生後12ヶ月以降において1回 生後1歳から2歳の前日に開始：2回 60日以上の間隔をおいて2回 生後2歳から5歳の前日に開始：1回	
B型肝炎	生後2ヶ月から9ヶ月の前日	生後1歳の前日まで	3回 （27日以上の間隔をおいて2回接種した後、1回目の注射から139日以上の間隔をおいて1回接種する。）		
子宮頸がん予防	中学1年生の女子	小学6年生から高校1年生相当の女子 キャッチアップ接種対象者： 平成9年度生まれから平成20年度生まれの女子で令和4年4月から令和7年3月末までに1回以上接種している者	2価ワクチン(サーバリックス)：3回 1ヶ月の間隔をおいて2回行った後、初回1回目の接種から6ヶ月の間隔をおいて1回 ※ただし、上記方法をとることができない場合は1ヶ月以上の間隔をおいて2回接種した後、1回目の注射から5ヶ月以上、かつ2回目の注射から2ヶ月半以上の間隔をおいて1回 4価ワクチン(ガーダシル)：3回 1回目接種から2か月の間隔をおいて2回目接種後、初回1回目の接種から6か月の間隔をおいて1回 ※ただし、上記方法をとることができない場合は1ヶ月以上の間隔をおいて2回接種した後、2回目から3ヶ月以上の間隔をおいて1回 9価ワクチン(シルガード) ・1回目の接種を15歳になるまでに受ける場合：2回 5ヶ月以上の間隔をあける。5ヶ月未満の場合、3回目の接種が必要 ・1回目の接種を15歳になってから受ける場合：3回 1回目の接種から2ヶ月の間隔をおいて2回目接種後、初回1回目の接種から6ヶ月の間隔をおいて1回 ※ただし、上記方法をとることができない場合は1ヶ月以上の間隔をおいて2回接種した後、2回目から3ヶ月以上の間隔をおいて1回		
生 ワ ク チ ン	BCG	生後5か月から8か月に達するまで	生後1歳の前日	1回	
	麻しん 風しん混合	1期 生後1歳から2歳の 前日 (このなかの早い時期)	生後1歳から2歳の前日	1回	
		2期 小学校就学前の1年間に ある4月から6月	5歳以上7歳の 前日 (小学校就学前の1年間にある)	1回	
	※特例対象者 ◎1期：令和6年度中内に2歳に達する、又は達した者 2期：平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれの子 MRワクチンの供給不足により接種ができなかった場合は令和9年3月31日まで定期予防接種として受けることができる				
	水痘	生後1歳から1歳3か月に達するまで	生後1歳から3歳の前日	2回 （3ヶ月以上、標準的には6ヶ月から12ヶ月までの間隔をおく）	
ロタウイルス	生後2か月から (初回接種は生後14週6日までに開始) ※初回接種を生後15週以降に受けることはお勧めしていません。	生後6週から24週まで	ロタリックス：2回(27日以上の間隔をあけて2回)		
		生後6週から32週まで	ロタテック：3回(それぞれ27日以上の間隔をあけて3回)		

【任意予防接種】

予防接種の種類		接種年齢	回数及び間隔
生 ワ ク チ ン	おたふくかぜ	1回目 生後12か月から15か月	1回
		2回目 小学校就学前の1年間	1回
不 活 化 ワ ク チ ン	季節性インフルエンザ	生後6か月以上13歳未満	2回(2～4週間の間隔をあける。免疫を考慮すると4週間が望ましい)
		13歳以上	1回または2回